

# 湧別川水系河川整備基本方針の概要

## 流域及び河川の概要

流域形状は南北に長く標高差も大きい。河床勾配は上流部で1/100以上、人口・資産の集中する中流部で約1/250程度、下流部でも1/300～1/800程度の急流河川  
産業は道内産木材を使用したピアノの響板、タマネギ、ホタテ、牡蠣等を生産  
オホーツク海気候で、流域の年間降水量は約800mm程度で全国で最も少ない地域

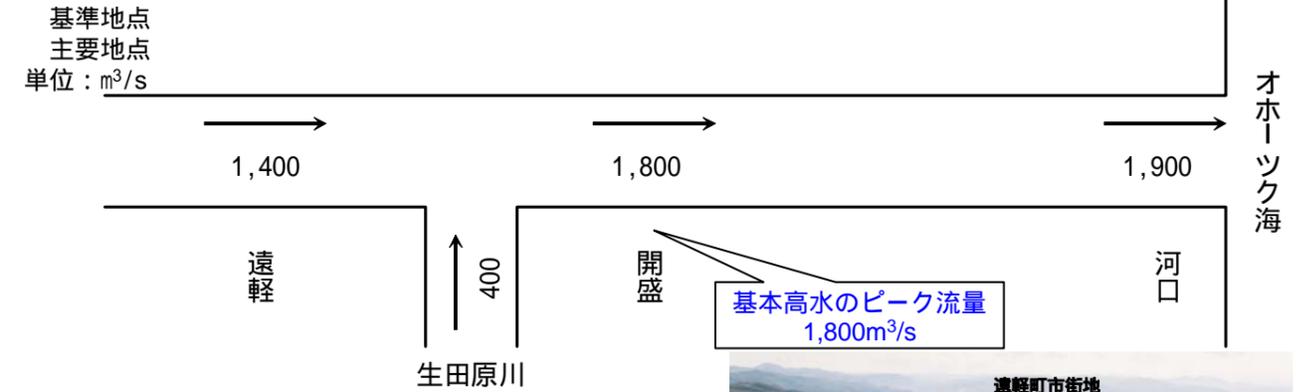
- 【流域及び氾濫域の諸元】
- ・流域面積(集水面積) : 1,480km<sup>2</sup>
  - ・幹川流路延長 : 87km
  - ・想定氾濫区域内人口 : 約21,000人



## 災害の発生の防止又は軽減

工事実施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量データによる確率からの検討、雨量データによる確率からの検討、既往洪水からの検討、1/100確率規模モデル降雨波形による検討等を総合的に検討し、河川整備基本方針においても既定計画と同様に基本高水のピーク流量を開盛地点で1,800m<sup>3</sup>/sと設定

### 【流量配分図】



基本高水のピーク流量の全量を河道で負担  
堤防の新設・拡築及び河道の掘削により流下能力の向上を図るとともに、水衝部の護岸等を整備



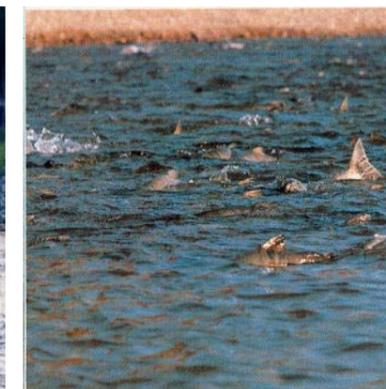
基準地点開盛 (上湧別町)

## 河川環境の整備と保全

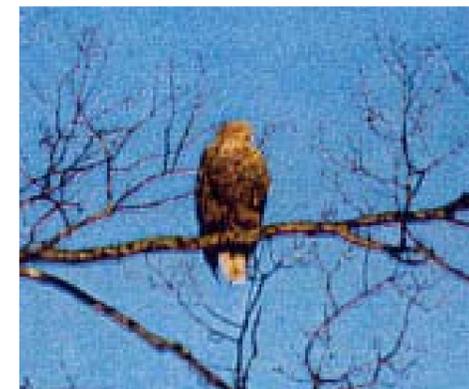
上流部はハナカジカやオショロコマ、エゾイワナ等が生息し、溪流釣りに多くの人々が訪れていることから、その自然環境や瀬・淵の連続する環境の保全に努める  
中流部はサケ、サクラマス、カラフトマス等が遡上し、これらの増殖に関して重要な位置を占めている。連続した魚類の遡上環境や生息環境、産卵床の保全に努める  
下流部はオジロワシ、クマゲラ等の繁殖環境、オオワシ等の越冬環境となっている水辺とその周辺の河畔林、河口付近の緩やかな流れ、砂丘植生などの保全に努める



オホーツクフィッシング大会



サケ・カラフトマスの遡上



オジロワシ

## 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める  
開盛地点における流水の正常な機能を維持するための流量は、年間を通じて概6m<sup>3</sup>/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利利用、河川環境の保全等に資するものとする